

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成18年5月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成18年5月は下記のとおり4件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月24日 (公表済み)	1664	車名：三菱 型式：PA-MK25FJ等 通称名：ふそうエアロミディ	40	平成16年11月27日～ 平成17年12月15日
不具合の部位等	最後部座席のシートベルトの金具を固定するフロアボードの穴径が不適切なため、金具が傾いた状態で無理に取付られているため、そのままの状態で使用を続けると、当該ボルトが緩み、最悪の場合、衝突時等の際に乗客が前方に移動することを防止できなくなるおそれがある。			

## 2. 届出者：スズキ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月24日	1668	車名：スズキ 型式：DBA-ZD21S等 通称名：スイフト等	4	平成18年5月8日
不具合の部位等	原動機の組立て工程において、クランクシャフトのスラスト軸受けの組付け方向を誤ったものがあるため、当該軸受け部の摺動性が低下し、摩耗するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、異音が発生し、最悪の場合、当該軸受け部が焼付き、走行不能となるおそれがある。			

## 3. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月30日	1670	車名：日野 型式：PJ-KV234L1 通称名：日野ブルーリボン	73	平成17年11月24日～ 平成17年2月13日
不具合の部位等	かじ取り装置において、ナックルアームをナックルに固定するボルト2本のうち1本について、熱処理が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、早期に当該ボルトが破損し、最悪の場合、2本とも折損し、ナックルアームが外れて操舵不能となるおそれがある。			

## 4. 届出者：日産ディーゼル工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
5月31日	1672	車名：ニッサンディーゼル 型式：KL-UA452KAN改 通称名：-	10	平成12年10月19日～ 平成15年3月4日
不具合の部位等	大型低床CNG路線バスに改造した車両において、車体下部のフレームにCNGボンベを装着したことによって、フレームの強度が不足することとなり、山間の屈曲路等を繰り返し走行すると、当該フレームに亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、当該フレームが破損するおそれがある。			

[参考]

平成18年5月のリコール届出総件数(※)		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	12件	8件	4件
輸入車	6件	6件	0件
計	18件	14件	4件

※対象台数の追加の届出については届出総件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 中村、田辺 電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352・42353)
--